

第92回WIN定例講演会・第47回人間情報学会講演会  
『エクソソーム -人体の通信ネットワーク  
における役割と治療への応用-』

2024年4月24日(水) お茶の水女子大学 国際交流プラザ 多目的ホール



日 時: 2024年4月24日(水) 14:00 - 17:00  
会 場: お茶の水女子大学 国際交流プラザ2階 多目的ホール(東京都文京区大塚2-20-1)  
会 費: WIN会員: 1万円、一般: 1万5千円、学校関係者: 3千円  
定 員: 80名限定(先着順)  
お申込サイト: <https://win92ahi47-lecture.peatix.com>

【概要】

現代の情報通信技術におけるデジタルネットワークの進化に類似して、人体内の各臓器間の情報交換システムもまた高度に統合されている。この生物学的通信ネットワークにおける重要な媒体がエクソソームである。エクソソームは、細胞が放出する細胞外小胞であり、臓器間の情報伝達に不可欠な役割を果たしている。近年、エクソソームががんの転移や新たな診断法、治療法の研究において重要な役割を担っている事が明らかになっている。本講演会では、エクソソームの専門家による講演を通じて、エクソソームの人体内での情報伝達メカニズムについて深く掘り下げ、がんの診断や治療法の開発におけるその新たな可能性について考察する。



14:00 - 14:45 講演1 『がん細胞特異的なエクソソーム分泌が  
浸潤・転移に与える影響について』

国立がんセンター研究所 病態情報学 ユニット長 山本 雄介 氏

2004年早稲田大学教育学部理学科生物学専攻卒業、2006年同大学大学院理工学研究科生命理工学専攻修士課程修了、2008年同専攻博士課程修了、博士号(理学)取得。日本学術振興会特別研究員、シンガポールゲノム研究所 ポストドクトラルフェローを経て、2015国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野 主任研究員。2021年10月より現職。日本癌学会、日本分子生物学会、日本細胞外小胞学会にて活動。専門は、分子生物学・腫瘍生物学。



14:45 - 15:30 講演2 『尿を用いた痛みのないがんの早期発見  
～最先端の技術はがん検査をどう変えるか～』

Craif株式会社 CTO 市川 裕樹 氏

東京大学大学院 薬学系研究科にて博士号取得。ケミカルバイオロジーを専攻し研究に携わる一方、米国のNPOにて開発途上国への医療テクノロジー導入も支援。2013年7月にバイエル薬品に入社。MR、全社プロジェクトのPMO、マーケティングと経営企画のマネジャーに従事。2019年1月 同社を退職後、Craif株式会社に参画。



15:45 - 16:30 講演3 『エクソソームを用いた  
尿道粘膜損傷に対する治療可能性』

江東病院 泌尿器科部長 / 順天堂大学 緩和医療学 講師 渡邊 大祐 氏

防衛医科大学校医学部卒(M.D.)、順天堂大学大学院医学研究科博士課程修了(Ph.D.)、防衛医科大学校泌尿器科学講座、関東圏内市中病院を経て2022年4月より現職。東京医科大学医学総合研究所分子細胞治療研究部門客員研究員を併任。専門は泌尿器科学(がん治療関連合併症、尿道外傷、続発性尿道狭窄症)、緩和医療学(骨関連事象、CTIBL)。日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医など。



16:30 - 16:45 健康講話

医学博士・赤門前クリニック院長 吉田 たかよし 氏

本郷赤門前クリニック・院長 受験医学研究所・代表 新宿ストレスクリニック顧問(受験うつ)  
人間情報学会・理事・ヘルスケア部会長 日本メンタルヘルス研究センター・受験うつエグゼクティブフェロー  
学習カウンセリング協会・理事長 元素カンファレンス代表  
WIN主席研究員 国際カラーデザイン協会・理事 DNAコミュニケーション研究フォーラム・代表

16:45 - 17:00 WINグループ活動報告 WIN理事長 板生 清

講演会出席者 名刺交換会・交流会

日 時: 2024年4月24日(水) 17:00 - 18:00  
会 場: 国際交流プラザ 多目的ホール  
会 費: 千円(原則として、講演会ご出席者様のみ、ご参加頂けます。)